

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 事業の予算執行

平成19年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、19年度に執行した新規事業の主なもの（決算額）は以下のとおりです。

・新教育棟建設（平成18年度からの継続事業、 18年度分 412,582千円を含む）	2,579,000千円
・1号館5階実習室改造	46,000千円
・図書館内改装・改修	20,000千円
・図書館システム更新（リース）	3,000千円
・4号館講義室（2室）改修	14,000千円
・第1コンピュータ演習室等改修・整備	6,000千円
・講義収録システム	4,500千円
・6年制対応のC B T・O S C E関係費	7,300千円
・「エクステンションセンター」の設置に伴う 薬剤師認定制度認証機構関係費	5,000千円

他

#### 2. 法人会計決算

##### (1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では入学者数が318名と当初の想定を上回り、学生納付金収入は、対前年度比45百万円の収入増となりました。また、寄付金や資産運用収入や事業収入も見込み額を超え、さらに、新教育棟建設の引当資金他から2,224百万円繰入れ、総収入は5,314百万円と予算を135百万円上回りました。

また、支出面では退職金が見込み額を上回り、また、新教育棟の建設費の支払いや各種引当資金への積増し等も行いましたが、前年度にひきつづき執行の見直しや節約に努めた結果、次年度繰越支払資金は対前年度比、50百万円減の1,048百万円となり、前受金453百万円を十分カバーできる決算となりました。

##### (2) 消費収支計算書（総括表）

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金要組入額を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は727百万円の支出超過となり、前年度からの収入超過額と相殺の結果、翌年度への繰越収入超過額は1,590百万円と前年度に比べ減少しました。

##### (3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、また新教育棟建設のための第2号基本金の引当資金他の取崩しを行いましたが、第2号基本金を含む諸引当資金の積増しを行った結果、合計では380百万円増加し、20,310百万円となる一方、負債総額は借入金返却等から2,164百万円と減少し、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ454百万円（2.6%）増の18,146百万円となりました。

### 3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成15年度～19年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
  - ・資金収支の状況
  - ・消費収支の状況
  - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表